



はんだ山の風



Contents

- P.2 ごあいさつ 副病院長(患者サービス担当) 桑原 弓枝
- P.2 新任医師の紹介 整形外科 診療助教 戸川 大輔
- P.3 新任医師の紹介 耳鼻咽喉科 診療助教 伴 昭宏
- P.3 看護部防災講演会を開催しました 看護部管理室
- P.4 シリーズ最先端医療「子宮を守って治療する。それが光線力学療法
(Photodynamic therapy: PDT)」 産科婦人科 助教 村上 浩雄
- P.5 病気 ここが知りたい「外傷後ストレス障害(PTSD)」 精神科神経科 助教 栗田 大輔
- P.5 第2回医療安全講習会が行われました 医療安全管理室
- P.6 ボランティア活動懇談会が開催されました 医事課
- P.6 たんぼぼ学級運営懇談会が開催されました 医事課
- P.7 4月からの工事区域,移転する施設の紹介
- P.8 交通のご案内



浜松医科大学医学部附属病院 常勤・パート看護師募集

お問い合わせ

- 人事課任用係 TEL.053(435)2117
- 看護部事務室 TEL.053(435)2627

病院の理念

患者さんの人権を尊重し、地域の中核病院として安全で良質な医療を提供する。
さらに、大学病院として高度な医療を追求しつつ優れた医療人を養成する。

基本方針

- 患者さんの意思を尊重した安心・安全な医療の提供
- 社会・地域医療への貢献
- 良質な医療人の育成
- 高度な医療の追求
- 健全な病院運営の確立

ごあいさつ

副病院長(患者サービス担当) 桑原 弓枝



毎年この季節に浜松医科大学の構内を散策すると、山桜・ソメイヨシノや垂れ桜、八重桜の花々が目を楽しませてくれたものです。しかし、今年は工事中ということで、構内はこれまでとは異なる印象となっています。来年はきっと桜の花がこれまで以上の彩りを、附属病院に添えてくれることと期待しています。

外来棟の改修工事は、この先1年以上かかると言われています。通院される患者さんはもちろんのこと、お見舞いにいらっしゃる方々にも大変ご不便をおかけしていますことを心よりお詫び申し上げます。



今後さらに、外来棟内部のエリア毎の改修工事が進んでいきます。以前、通行できていた通路が通行止めとなり、迂回路をご利用いただくことが多くなるかと思いま

す。迷われたときにはお気軽に病院職員にお尋ね下さい。可能な限り、ご案内させていただきます。

さて、お気づきの方も多いかと思いますが、外来棟の最上階に2機のタワークレーンが設置されました。これは、旧病棟の10階から6階部分を細かく切断しながら、取り壊した建材を地上に降ろすためのクレーンです。振動や騒音、そして埃と、《居ながら改修》はリスクがあります。工事の安全と診療に支障をきたさないことを第一に工事は進められますが、危機意識を常に持って無事に完成することを、病院職員も待ちわびているところです。

完成時には明るく広々とした外来スペースが確保され、機能的な外来棟になるよう、様々な見直しをしております。引きつづきのご理解と、ご協力をお願いいたします。

新任医師の紹介

整形外科 診療助教 戸川 大輔



平成24年1月に北海道・函館中央病院（社会福祉法人 函館厚生院）から転勤して参りました。皆様、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

平成11年11月から平成17年8月までの5年9カ月、アメリカ・オハイオ州にありますクリーブランドクリニックで臨床病理、臨床研究に携わり、平成17年9月から平成23年12月まで函館中央病院・脊椎センターで脊椎外科医として仕事をしておりました。前職は“せぼね骨折センター長”というユニークな役職をいただき、主に骨粗鬆症性圧迫骨折の低侵襲治療法である“Balloon Kyphoplasty (BKP)”という治療法を日本に導入し、臨床治験を主導いたしました。同治療法は平成22年2月に薬事承認、平成23年1月から保険収載となり、昨年からは本格的に全国で行われるようになりました。

浜松医大では今までの経験を生かしながら、松山幸弘教授の御指導の元、自らの診療能力の限界をさらに広げたいと考えています。微力ながら、本学はもちろん、浜松の患者様により良い脊椎診

療を提供できればと思っております。

近年、日本も65歳以上が23%以上となる超高齢社会となり、生命寿命はもちろん、健康寿命を長らえることが目標とされております。患者様が生涯にわたり重度の痛みや身体のコムプレックスを抱えることなく過ごすことができるよう、我々整形外科医が良い仕事ができれば本望ですので、患者様と真摯に向かい合っ

て診療、臨床研究に従事したいと考えています。近年の高齢者は手術的治療に対しても積極的ですが、全身状態の評価や周術期の合併症など、他の診療科の先生方の御協力なくしては我々の整形外科診療は成り立ちません。お忙しい先生方、コメディカルの方々にも色々とお願ひすることになると思います。

浜松は私にとって初めての地ですが、しっかりと地に足をつけて頑張りたいと思います。どうか何卒よろしくお願ひ申し上げます。

新任医師の紹介

耳鼻咽喉科 診療助教 伴 昭宏

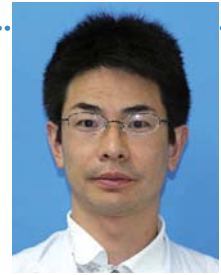
出身大学／浜松医科大学

卒業年度／平成15年

専門領域等／耳鼻咽喉科一般，日本耳鼻咽喉科学会専門医，補聴器適合相談医

所属学会／日本耳鼻咽喉科学会

経歴／浜松医科大学附属病院，静岡済生会総合病院，沼津市立病院，総合青山病院耳鼻咽喉科科長，清水厚生病院耳鼻咽喉科副医長，遠州病院耳鼻咽喉科医長を経て現職



平成24年1月より，母校の浜松医科大学へ耳鼻咽喉科診療助教として赴任いたしました。

関連病院では少人数で耳鼻咽喉科の一般臨床に従事しておりましたが，大学には大勢の頼れる諸先輩方・後輩達がおられます。峯田教授・水田准教授のご専門である頭頸部外科学・耳科学を中心に，より高度な医療を提供し，患者様のニーズにできるだけお応えできるようにしたいと考えております。また，大学病院という場所ですので，教育や研究の面でも，何か自分にお手伝いができることがあればと思っております。

大学は研修医時代から丸8年のブランクがあり，この間には様々なことがありました。この4月には第2子が生まれる予定ですが，育メンになるのはちょっと無理そうですね。

赴任して2ヶ月が経ちました。母校の病院ですので，久しぶりに懐かしい面々と会えるのは大変嬉しい限りですが，まだまだ大学のシステムには慣れず，右往左往しているところです。

皆さんには色々な面で，ご指導・ご支援をいただけると幸いです。今後とも，よろしくお願いいたします。

看護部防災講演会を開催しました



本学多目的ホールにて2月3日（金）に看護部防災講演会を開催しました。東北大学病院看護部長 門間典子氏を講師にお迎えし，

「東日本大震災 東北大学病院看護部の対応」と題して，地震の激しさや長さが生々しく感じられる発生時の病院の映像を織りまぜながら熱く語って頂きました。「絶対に宮城県の最前線の医療施設を疲弊させない」との病院長の力強いリーダーシップのもと，医員は全員総合医として活動をし，通常診療は1週間停止して，職員が一丸となり被災地からの患者を受け入れたとのこと。また，ライフ

ラインの一時停止という状況下，ナースたちは患者の安全確保や防寒対策，患者ケアに尽力し，非常時に日頃の実践で培ったケアの工夫で乗り切った看護力の強さを語られました。講演会には約200名の職員が参加した。東北大学病院の取り組みを当院の防災対策に活かして，各職員が適切な行動と判断ができる体制作りの重要性を再認識しました。

看護部管理室



子宮を守って治療する。それが光線力学療法 (Photodynamic therapy: PDT)

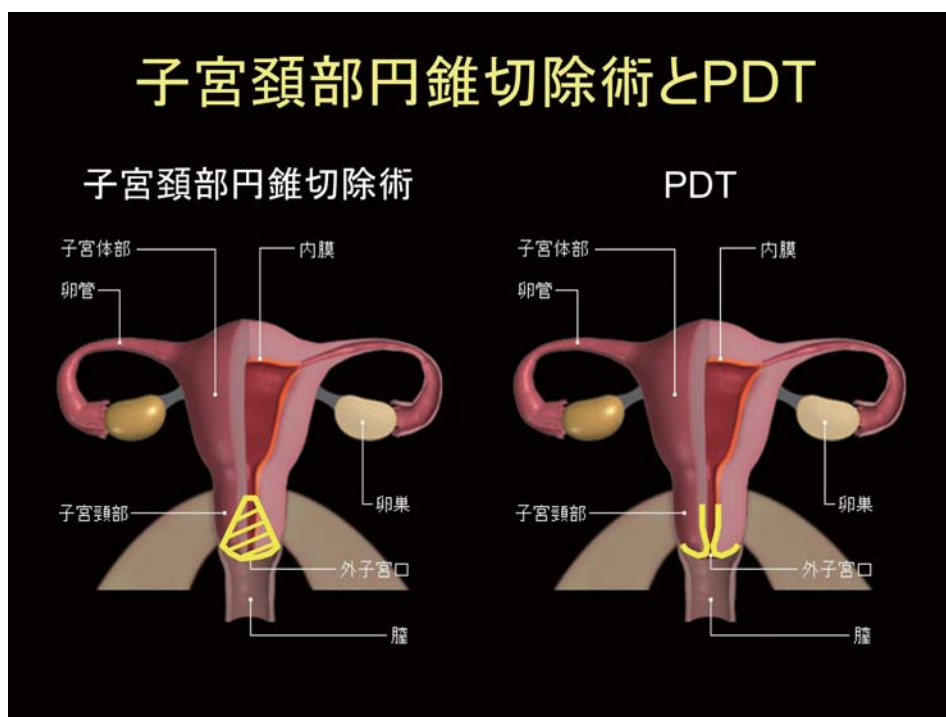
産科婦人科 助教 村上 浩雄

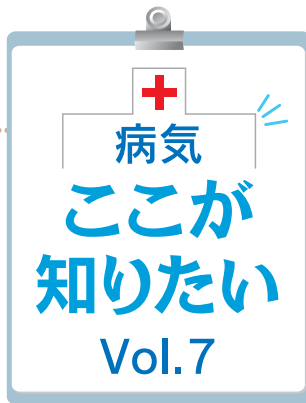
最近、テレビCMなどで皆さんもよくお聞きになる子宮頸癌。予防のためのワクチンや早期発見のための子宮癌検診は良く知られるようになってきました。特に妊娠・出産をする若い世代での「早期の子宮頸部病変」に対する治療法は患者さんの将来のこともあり、当大学産科婦人科ではしっかり説明した上で選択していただいています。治療法は子宮頸部円錐切除術と光線力学療法（以下PDT）の2つが選択できます。

PDTとは光感受性を持つ薬剤を患者さんへ投与し、病変部の細胞へより多く薬剤が取り込まれたタイミングで光線（低出力レーザー）を当て、異型細胞や癌細胞を壊す治療のことを指します。正常細胞より異常細胞に強くダメージを与えるため、病変部を選択的に治療する方法と言えます。そのため手術を行なった場合と異なり早産率が上昇することはありません。気になるPDTの治療成績ですが、1998年に開始してから現在までで約95%の治療率（手術と同等）でした。

しかしながらPDTが選択される割合は決して高くありません。その理由は投与薬剤のもつ影響である光線過敏にあります。この影響のため患者さんには遮光室という薄暗いPDT専用の病室に約1ヶ月入院が必要です。また、退院後も一定の期間直射日光に当たることを避けていただいています。時間が経過すれば薬物は代謝され普通の生活に戻れますが、その期間は個人差があるため楽な治療と言えないことも事実です。

最近、PDTの治療を受けた患者さんの中で妊娠・出産される方が少しずつ増えてきました。現時点で皆さん早産になることも無く、無事に正常な分娩をされています。PDTは子宮を切ることの無い治療法です。そして、妊娠した時、治療による影響では早産をする心配が無いと考えられます。光線過敏という影響はありますが、必ず改善します。子宮を守って治療して、より安心な妊娠をしていただくためにPDTはいかがでしょうか？





「外傷後ストレス障害(PTSD)」

精神科神経科 助教 栗田 大輔

PTSD (posttraumatic stress disorder) とは生死に関わるほどの事件、事故、自然災害などの「外傷体験」に遭遇した際に生じた心の傷を原因とする精神的後遺症です。PTSDは外傷体験後、数週から数ヶ月を経て発症します。外傷体験の直後から精神症状が見られる場合を急性ストレス反応と呼び、PTSDとは区別します。したがって、軽微な事故や受傷直後の症状ではPTSDとは呼びません。

PTSDは凄惨な場面を目撃した時など、間接的な外傷体験でも発症することがあります。しかし、同じ大災害に直面してもPTSDを発症する人としない人がおり、発症には個人差があることが知られています。

1970年代のアメリカでベトナム帰還兵や犯罪被害者に共通した精神症状が認められたことを契機にPTSDが提唱されました。わが国では1995年の阪神淡路大震災後、被災者や救援活動従事者に

PTSDが発症したことで、一般にも広く知られるようになりました。

PTSDの主な症状は過覚醒、麻痺、回避、再体験と言われています。患者は神経が過敏になり、気の休まる時間がなくなります(過覚醒)。また、感情が麻痺し、喜びや悲しみなどを感じにくくなります(麻痺)。さらに外傷体験を思い出させるような場所や人物を避けたり、考えないようにしたりします(回避)。一方で、思いがけず外傷体験を思い出してしまいます(再体験)。

PTSDの主な治療法には薬物療法と精神療法(カウンセリング)があります。最近では治療者と対話しながら目を左右に動かすことが症状の軽減につながるとされるEMDRという治療法が注目されています。

PTSDの診断や治療には熟練した技術が必要であり、専門科を受診することをお勧めします。PTSDは多くの場合、数ヶ月で治癒しますが、長年にわたって苦しむ場合があります。患者の支援者は早期の回復を期待せず、本人の訴えに共感する姿勢が求められます。

第2回医療安全講習会が行われました

平成24年3月6日(火曜日)、浜松医科大学医学部附属病院全職員を対象とした医療安全講習会が行われました。

北海道大学病院、医療安全管理部副部長、南須原康行先生による講演テーマは「1. 今必要とされている説明と同意、2. 医療事故発生時の適切な初期対応」でした。

インフォームド・コンセントとも呼ばれる説明と同意とは、患者さんが自分の治療法を決定するのに十分な情報をわかりやすい言葉で説明をうけ、さらに治療方法に関して疑問が生じた場合は質問でき、その上で理解し承諾を得ることのことでした。

また、医療事故発生時の適切な対応のお話では、「医療におけるリスクマネジメントは、大学病院が最先端で高度な医療を行い、それを患者さんが受けるために必要なものであり、萎縮医療を意味するものではない」というお話が印象に残りました。

医師、看護師を始め様々な部門から300人以上が出席し、大学附属病院の果たすべき役割を全職員が改めて認識する良い機会となる講演でした。



医療安全管理室

ボランティア活動懇談会が開催されました

2月16日（木）ボランティア活動員の皆さんと病院職員との懇談会が開催されました。当日は、日ごらの活動を通じて不便を感じていることや要望など活発に意見交換がなされ、主に病院改修に係る事柄が話題となりました。

病院再整備のため診療科の配置が変わり、外来案内担当のボランティアの皆さんにはいつも以上に活躍していただいています。一方、樹木剪定や患者図書室では逆に活動の場を設けることが出来なかったことがあり、今後の活動を見直すよい機会となりました。

病院改修後には、患者図書室を充実させる予定もあり、活動員の皆さんのますますの活躍を期待しています。

熱心な活動員の皆さんとの懇談に予定の時間はあっという間に過ぎてしまいました。この懇談会で得たご意見や要望を今後の患者サービスに反映させることを約束して懇談会を終了しました。



浜松医科大学附属病院ではボランティアを募集しています。活動内容は外来患者さんの案内、再来受付機操作補助、本の整理、読み聞かせなどです。ボランティアに興味のある方は医事課担当者までご連絡ください。皆様からのご連絡を心よりお待ちしております。 医事課

医事課担当者 宮津
TEL：053-435-2604
FAX：053-435-2153

たんぽぽ学級運営懇談会が開催されました

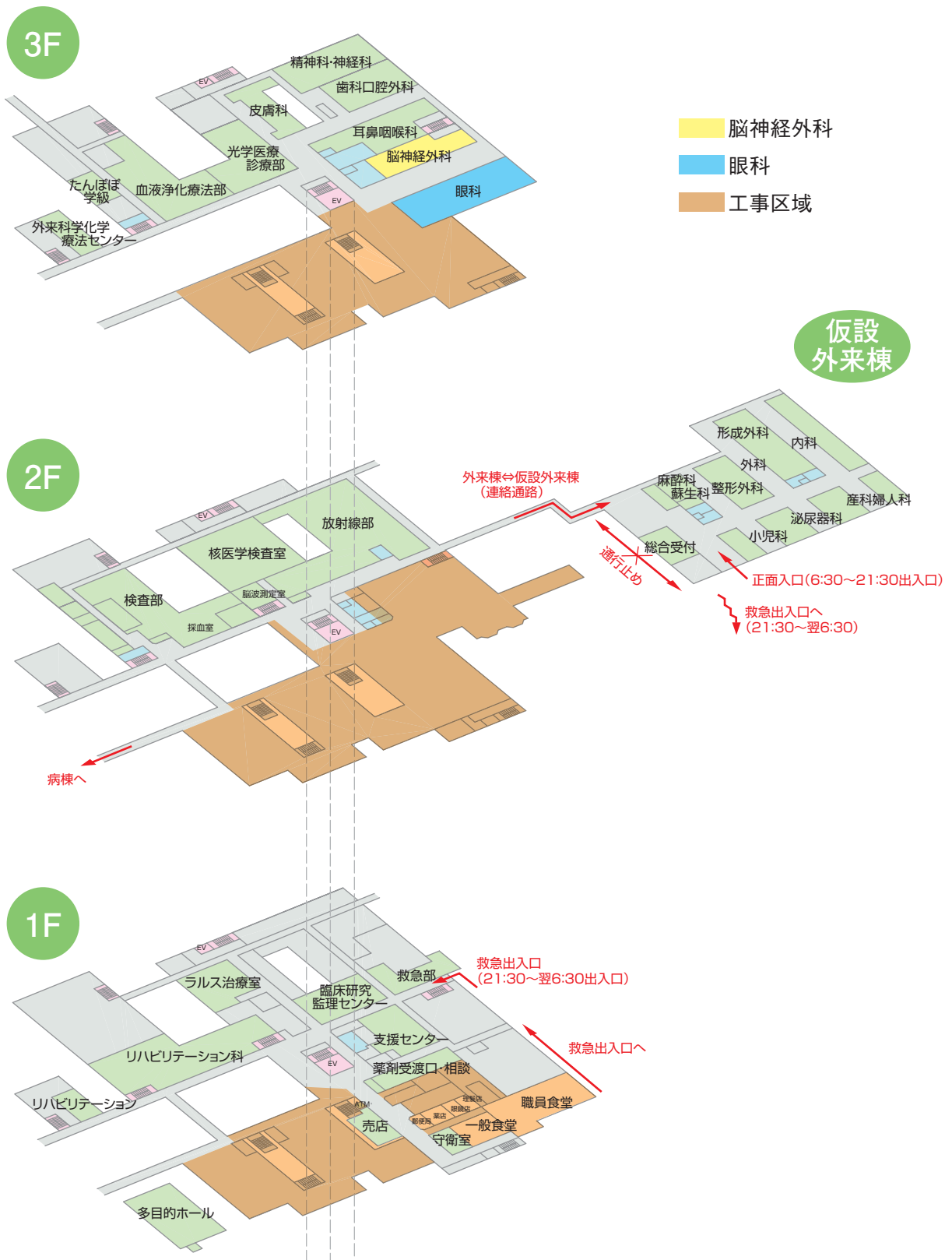
2月8日（水）平成23年度たんぽぽ学級運営懇談会を開催しました。浜松市教育委員会・有玉小学校・積志中学校・当院から関係者が出席し、本年度の取り組み及び成果や課題について担当教諭から報告があり、引き続き意見交換を行いました。県内唯一の院内学級である「たんぽぽ学級」で、病気と向き合いながら勉学に励む児童・生徒の様子を伺うことが出来ました。

医事課



4月からの工事区域,移転する施設の紹介

外来改修工事により、4月から脳神経外科，眼科が新しくなって外来棟3階に移転します。
 これに伴い，病院外来棟東側が工事区域となり，旧正面玄関前の通路が閉鎖されます。
 このため，病院入口は仮設外来棟玄関（6：30～21：30）及び救急出入口（1階）の2箇所となります。
 患者さんにはご迷惑をおかけしますが，ご理解とご協力をお願い致します。



外来診療日一覧

H 24.3.1 現在

診療科名	診療日										備考	
	初診					再診						
	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金		
内科 435-2632												
総合内科 (初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
第一内科 (消化器内科)	○	○	○	※○	○	○	○	○	※○	○		※午後のみ
(腎臓内科)	○	○	○		○	○	○	○		○		
(神経内科)	○	※○	○		○	○	※○	○		○		※午前のみ
第二内科 (肝臓内科)	○	○		○	※○	○	○		○	※○		※予約のみ
(呼吸器内科)	○	○		○	○	○	○		○	○		
(内分泌・代謝内科)	○	○		○	○	○	○		○	○		
第三内科 (血液内科)	○	※○	○	○	○	○	※○	○	○	○		※午後のみ
(免疫・リウマチ内科)			○	○	※○			○	○	※○		※予約のみ
臨床薬理内科	※○			※○		※○			※○			※予約のみ
循環器内科	○		※○	○	○	○		※○	○	○		※午後のみ
ペースメーカー外来								※○				※午後 (予約のみ)
ピロリ菌外来 (自費診療)	※○					※○						※予約のみ
精神科神経科 435-2635												
(初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
(森田療法)								※○				※午後のみ
(児童思春期)							○		○			
(摂食障害外来)								※○				※午後のみ
(認知療法外来)									○			
第一外科 435-2641												
(呼吸器外科)			○		※○			○		※○		※午前のみ
(小児外科)		※○					※○					※午後のみ
(一般外科 (内視鏡))	○		○		○	○		○		○		
(乳腺外科)	○	○			○	○	○			○		
心臓血管外科	○		○		※○	○		○		※○		※予約のみ
第二外科 435-2642												
(上部消化管外科)			○					○				
(下部消化管外科)	○					○						
(肝胆膵外科)					○					○		
(血管外科)		○					○					
(緩和ケア外来)		※○					※○					※予約のみ (第2週のみ)
脳神経外科 435-2644												
(初診・再診)	○	○		○	○		○		○	○		
整形外科 435-2647												
(初診・再診)	○		○	※○	○	○		○	※○	○		※午前予約のみ
(教授外来、脊椎)	○			※○		○			※○			※午前予約のみ
専門外来 (骨粗鬆症)				※○					※○			※午前のみ
(リウマチ)			※1○	※2○				※1○	※2○			※1 午後のみ ※2 午前のみ
(手・末梢神経)			※○					※○				※午前のみ
(脊椎)	※○					※○						※午後のみ
(腫瘍)			※○					※○				※午後のみ
(股関節)					※○					※○		※午前のみ
(肩関節)					※○					※○		※午後のみ
(膝関節)					※○					※○		※午後のみ
(小児整形)	※○					※○						※午後のみ
皮膚科 435-2650												
(初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
(乾癬外来)			○		○			○		○		
(アトピー外来)	○		○			○		○				
(光線過敏症外来)		※○					※○					※奇数月第4週のみ
(脱毛症外来)	○					○						
(化学療法スキンケア外来)			○		○			○		○		
泌尿器科 435-2653												
(初診・再診)	○	○	○	○			○	○	○			
(腎移植外来)			※○	○				※○	○			※第1週・第3週・第5週のみ
(結石外来)		○		○			○		○			
(排尿障害外来)		※○					※○					※午前のみ
(不妊症外来)	※1○				※2○	※1○				※2○		※1 午後 (第2週は休診)のみ ※2 午後予約のみ
(前立腺密封小線源外来)		※○					※○					※午前のみ

診療科名	診療日										備考
	初診					再診					
	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	
小児科 435-2638											専門外来午後の再診は、全て予約制
(初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	
(小児遺伝)		※○					※○				※午後(完全予約制)
(内分泌)	※1○	※1○		※1○	※1○	※2○	○		※1○	○	※1は午前のみ ※2はAMと15時から
(心臓)		※1○		○	※2○		※1○		※2○	※2○	※1午前のみ ※2午後予約のみ
(血液)									※1○	※2○	※1午後のみ ※2第2・3・4週午後のみ
(アレルギー)	※2○			※2○		※1○			※2○		※1午前・15時から(予約のみ) ※2予約のみ
(神経)				※○	※2○		※1○		※2○	※2○	※1予約のみ ※2午後は予約のみ ※は午前のみ
(腎臓)				※○	※○				※○	※○	※午後のみ(予約)
(新生児フォローアップ)							※1○		※2○		※1午後のみ ※2不定期
(乳児検診)	※○					※○					※午後(予約のみ)
(内分泌フォローアップ)										※○	※午後(予約のみ)
眼科 435-2656											
(初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
専門外来(網膜変性外来)						※○					※第4週午後のみ
(小児・弱視斜視外来)								※○			※午後予約のみ
(ロービジョン)										※○	※午後予約のみ
耳鼻咽喉科 435-2659											
(初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
専門外来(腫瘍外来)	○					○					
(耳外来)				○					○		
(めまい外来)				※○					※○		※予約のみ
(耳鳴外来)		○					○				
(難聴外来・人工内耳外来)		○					○				
(睡眠時無呼吸・顔面神経外来)					○					○	
(鼻副鼻腔・アレルギー外来)				※○					※○		※午後予約のみ
産科婦人科 435-2662											女性医師ご希望の方はお申し出ください
(初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(婦人科外来)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(産科外来)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(腹腔鏡外来)		※○					※○				※午後予約のみ
(光療法外来)			※○					※○			※午後予約のみ
(母親学級)							※○				※予約制
(女性漢方外来)	※○					※○					※第2・4週予約制
A R T室 435-2664											
(不妊外来)						※○	※○		※○	※○	※午後予約のみ
放射線科 435-2665											
(放射線治療外来)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	午前のみ
(アンギオ外来)		○		○			○		○		午前のみ
麻酔科蘇生科 435-2668											
(初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	午前のみ
リハビリテーション科 435-2747											
(初診・再診)		○	○	○			○	○	○		
形成外科 435-2496											
(初診・再診)	○	○	○	○		○	○	○	○		午前のみ
歯科口腔外科 435-2673											
(初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(唇顎口蓋裂外来)				○				○			
(インプラント外来)				○				○			
(顎補綴)			※○					※○			※診察日は外来にお問合わせください

診療受付時間	休診日
一般外来 午前 8時30分 ~ 午前11時まで	土曜日および日曜日
専門外来	祝日法による休日
専門外来 午後 0時30分 ~ 午後 2時まで	12月29日~翌年1月3日まで

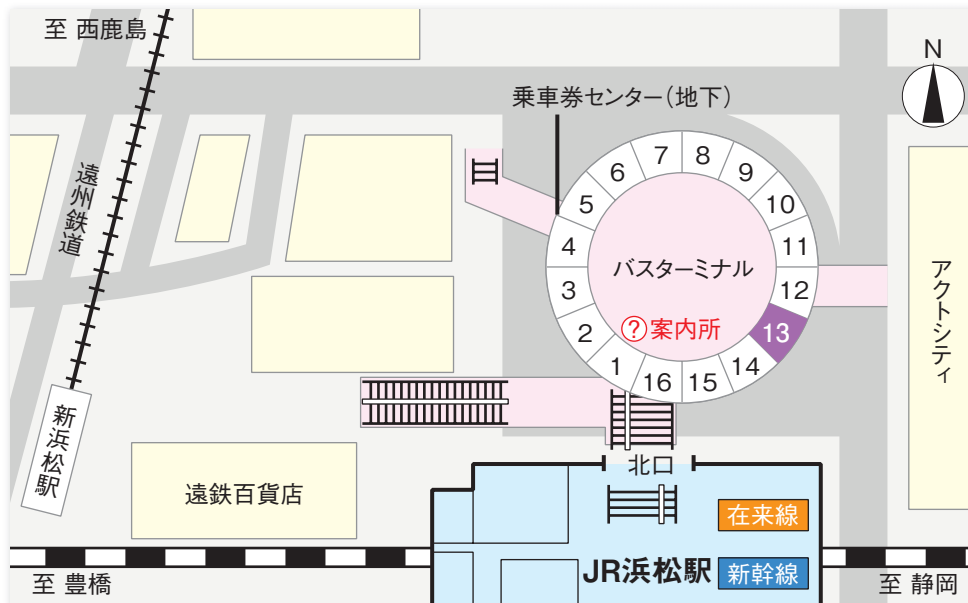
交通のご案内



●バスをご利用の方

バス乗り場	路線番号	路線名称等	所要時間	料金
13番ポール	50	磐田山の手線医大行き	約35分	410円
	57	医大循環(中央署まわり)	約35分	410円

●浜松駅からバスターミナルまで



病院広報 **はんだ山の風** 第7号 平成24年4月発行

発行／浜松医科大学医学部附属病院広報推進委員会 〒431-3192 浜松市東区半田山1丁目20番1号
TEL.053(435)2111(代表) FAX.053(435)2153(医事課) Hpアドレス/ <http://www.hama-med.ac.jp/>